

長野県議会における中期総合計画に関する主な意見・提言

意見・提言（平成19年6月定例会）

- (長野県産業振興戦略プランに示されている)産業振興戦略に集中的に取り組むことが、県民の皆さんに対する力強いメッセージではないか。そのためには、行政は総合産業であり、総花的にならざるを得ないことは理解できるが、ポイントを絞った重点施策計画とすべきではないか。
- 大綱に示される長野県の5年後の将来像に至る目標を着実に達成させるため、戦略型計画に挑戦していただきたい。
- 計画策定過程での県民参加はもちろんのこと、計画と行政評価システムとの連動など進行管理への県民参加が必要であると考えます。
- 各地域又は県としてこれだけのことはやる、あるいは5年間でできなければ引き続き持続性を持ってやっていくという具体的な柱を出してほしい。
- 新しい県がどういう県になるか、特徴を出すべきだ。特徴のないところに客は来ない。長野県にあるものは、澄んだ空気と水。となれば、これからの長野県は「健康」だ。長野県は長寿県であり、健康立県をうたいあげる絶好のチャンスである。
- 長野県の特徴に配慮し、自然や歴史、文化、人などを県政に生かすようなものにしてほしい。暮らしの身近なところにあるもの、長野県にしかないもの、暮らしのあり方を発信していく計画にしてほしい。